

(平成28年度)第2回運営推進会議実施報告書

平成29年3月16日

事業所名	大田区立矢口高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応型通所介護
電話番号	03 ( 5711 ) 0851		
開催日時	平成29年3月15日(水)	14:00 ~ 15:00	
開催場所	大田区新蒲田2-12-18 大田区立矢口高齢者在宅サービスセンター 会議室		
出席者 <u>8</u> 人	(内訳)		
	利用者	なし	
	利用者家族	1名	
	地域の代表	民生委員 1名	
	区・地域包括支援センター	1名	
	その他	シニアクラブ 3名	
	事業所職員	2名	
◆活動報告・活動計画 活動報告書(別紙)			
◆活動報告・計画に対する評価			
【家族】 ・重度だが良くしてもらっている。特にはないです。			
【シニアクラブ】 実施内容についての質問 Q. 12月に植えたさくらんぼの木の大きさはどれくらいですか？ A. 1メートル弱です。 Q. 鏡開きのぜんざいのお餅は1cm角に切って出したの？ A. 薄くスライスして提供しています。 Q. 園芸を実施する日や行事・外出は曜日が決まっているのか？ A. 園芸はおおまかな日程(通年)は決まっているが、その日の状況により利用者と決めています。 園芸日誌を継続してつけています。 行事と外出は全員が参加できる様に努めています。			
◆事業所に対する要望・意見			
【家族】 ①認知になって17年になる。寝かしている状況では良くないので、矢口のデイサービスに来て本人にとって良いと段々とわかってきた。目の認識はあり映像として見たものはわかる。目の動きが最近活発になっている。デイサービスからの様子もいろいろ聞けています。寝かせていないで動かすことで効果が出てきているとわかってきた。			
【民生委員・シニアクラブ】 前回開催時、民生委員やシニアクラブでの集まりで話す機会がある時は、認知症の事・デイサービスの事・今回の会議での内容を話して頂いたこと話した事について半年経過したのでどの様な進捗があったのか報告してほしい話をする。			
【民生委員】 ・民生委員の中では特にしていない。 ・婦人部で認知症サポーターの勉強会をした。 ・シニアクラブや老人会にも話していく。			
【シニアクラブ】 ・個人的には福祉の会社で開催した認知症について聞いてきた。 ②シニアクラブでの講習会みたいなきに依頼したら来てくれますか？ ③「そろそろ認知症でないかな」とわかると良い。			
・1年に一回は勉強会を開催すると良い。何回も聴くように言っている。 ・講習会も毎年内容が変わるので参加すると良い。 ・「刺激」を意識付けしていくのが大切。相談は地域包括支援センター、積極性をもって認知症について実施して行く。 ・認知症の人は維持に繋げ、中間フレイルに対しても力を入れていく傾向になるし、良くなる可能性をもっているのでは社会貢献に繋がるのではないか。			

◆要望・意見に対する事業所からの回答

- ①目からの刺激が継続して提供できるようなプログラムに取り組んでいきます。
  - ②地域包括支援センターより 事前に知らせて頂ければ協力します。
  - ③地域包括支援センターより 心配になったら通院すると良いのでは。第三者や家族、周囲がサポートすることが早期発見に繋がる。
- 【民生委員】 スマホでも診断できる物が今出ている(不確かかもしれないが)

◆地域・行政等からの情報提供

- ・認知症ケアパスについて。
- ・シニアステーション糶谷について。
- ・平成30年4月からの介護保険について。

◆その他・特記事項

【シニアクラブ】

- ・4月に実施する総会の時に幹部が来るのだから、今回の説明資料など置いてもらえるとシニアクラブからも広めることができるのではないか。(各シニアクラブに広報誌1年分)
- ・社会貢献にもなるし、コミュニティやデイサービスの内容充実にも繋がり、デイサービスへのルート強化にもつながるのではないか。

※会議録作成にあたって

- ・報告書は2ページにわたっても構いませんので、文字は縮小しないでください。